

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副議長	局 長	次 長	主 査	主 査	担 当	文書取扱主任		

第 20 回 総 務 文 教 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成21年3月10日（火曜日）	開会 16 時 30 分	閉会 18 時 16 分	
開催場所	第一委員会室			
出席委員	本間、三上、窪之内、関藤、大谷、井上、議長、 委員外議員～渡辺、清水、山口、荒木、堀、堀田、山腰、水口	事務局	中嶋事務局長	
			田湯次長	
欠席委員	なし		寿崎主任主事	
説明員	別紙のとおり			
議 件	別紙のとおり			
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について			
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。			
	(1) 男子中学生飛び降り事件について			
	2 その他について			
	なし			
	3 次回委員会の日程について			
	学校視察も含めて正副委員長に一任することに決定した。			
	上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 総務文教常任委員長 本 間 保 昭 ㊞			

平成21年3月9日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘
滝川市教育委員会委員長 若 松 重 義

総務文教常任委員会への説明員の出席について

平成21年3月9日付け滝議第182号で通知がありました総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市教育委員会委員長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育長	小 田 真 人
教育部長	高 橋 一 昭
教育部指導参事	早 瀬 公 平
教育部学校教育課長	吉 川 修
教育部学校教育課副主幹	杉 原 慶 紀
教育部学校教育課心の教育推進室長	水 林 俊 治
教育部学校教育課心の教育推進室主査	丹 那 暢 仁

(総務部総務課総務グループ)

第 20 回 総務文教常任委員会

H21. 3. 10 (火) 本会議終了後
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 所管からの報告について

《教 育 部》

（1）男子中学生飛び降り事件について

2 その他について

3 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第20回 総務文教常任委員会

H21. 3. 10(火) 本会議終了後

第一委員会室

開 会 16:30

委員動静報告

委員長

全員出席。議長。委員外議員～渡辺、清水、山口、荒木、堀、堀田、山腰、水口。NHK、HTB、HBC、読売新聞、プレス空知、毎日新聞、北海道新聞の傍聴を許可。

議会終了後の開催ということで16時30分から開会となったが、急遽集まっていた。きょうは主に事件の報告を受けて若干の不明点を解決するという進めていきたいと思う。本来であれば委員外議員の皆さんにも発言の機会を多くとるべきだと思うが、今回は事情をかんがみて遠慮していただくことにならと思うので、どうか協力願う。また今後についても逐次委員会を行っていきたいと思っているので、機会を得ながらいろいろと解明に努力いただきたいと思う。

1 所管からの報告事項について

(1) 男子中学生飛び降り事件について

教育長

きょうの報告事項についてだが、3月5日に発生した市内中学校1年生、男子生徒の飛びおり事件に関する報告をさせていただく。資料としては事件の概要、3月7日に開催した保護者説明会での概要、3月6日に生徒に対して行ったアンケート結果の概要について配付している。平成17年9月の事件以降、教育委員会としても心の教育推進室という組織を立ち上げ、相談体制をつくり、さまざまな道徳事業の展開を図り、また教職員の資質の向上も図りながら進めてきたところだが、残念ながら今回このような事件が再び起きてしまったことについて改めておわびをしたいと思う。けがをされた生徒さんが1日も早く元気になって復活していただくことを切に願っている。今回報告させていただく事件についてはまだ全容等が確認できていない。委員長からも話があったように議会にも情報提供やこういった形の中で進捗状況等を逐次報告させていただきたいと思う。

水林室長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

関 藤

① 当該中学校のPTA副会長でもあることから3月5日のPTA会長訪問に私も同行した。3月7日の保護者説明会にも出席をさせていただいた。そのような中から幾つか疑問に思うことがあったので質疑させていただく。第一報を受けたときには私も保護者の立場から自分の子供が加害者でなければいいという気持ちが先走ってしまった。これというのも今の子供たちを見ているとだれが加害者になり、いつ被害者になるかわからない子供の状況というものがある。Aに暴力を振るわれたりして云々と書かれているが、暴力をこのような形で受けたことだけで果たして飛びおりを考えるものかが疑問である。以前からそういった行為があったのではないか。そこをまず伺いたい。

② いじめについて気がついていのかどうか伺う。保護者説明会では学校として把握していなかったのかという質問に対して、把握していなかったとはっきり答えられた。いじめの事実確認に対しても先生方の情報の突き合わせはし

教 育 長

ていないということだった。アンケートの結果を見ると、複数の生徒たちはいじめらしきものがあったという認識の回答をしている。少なくとも担任の先生が把握していないというのはどういうことなのか。ただ単に1人、2人というのであればわかるが、複数の生徒がそういった現状を見たり聞いたりしているという事実がある以上、それに対して担任が知らなかった、学校はわからなかったというのは全く無責任な話である。教師としての役割は何なのか。

③ 今後実態調査を行い保護者説明会をまた開くということだが、その実態調査に対して学校側の組合は全く非協力的だとあるところから聞いた。学校の先生方がこれに対して協力しないとはどういうことなのか。理解に苦しむ。そういったことを教育委員会としてはどのように考えているのか。

④ 保護者説明会についてだが、あの仕方は非常に保護者にとって不安が残るものだった。教頭先生から説明を受けたが、非常にちぐはぐで個々の説明をしている中でも教育委員会の顔をうかがいながらやっている部分が多々あった。そのようなことくらい学校として自信を持って処理できないのだろうかと保護者に対してさらに不安を与える要因だった。その辺はどうなっているのか。

⑤ いじめ対策ということで教育委員会はマニュアルをつくっているが、これは既に学校に配付されているのか。またいつ配付されたのか。

⑥ 教育長は市内11校をそれぞれどのようにとらえているのか。例えばこの学校は先生方が生徒のために一丸となってやっているだとか、この学校はどうだなどイメージを持っているはずである。そういう中で当該中学校に対してどのような印象を持っていたのか伺いたい。

① 現在私どもが把握をしている事象、今配付しているアンケートの中でわかってきた事象だけが原因なのかは確認をする必要があると思っている。まだ生徒と直接話をしていないが、話を聞く中でその点についても把握をしていきたいと思っている。

② アンケートを見てもこれだけ多くの生徒が見たり聞いたりしているのに、どうして担任や担任以外も含めて学校側に伝わることがなかったのかということについては非常に重く受けとめているし、なぜそうなったのかという原因は今回の事件とともに整理をしなければならないと思っている。私どもとしても考えられないことだと率直に思っており、その点については十分検証を強めたいと思う。

③ 職員の非協力的ということについては、指導参事から答弁させていただく。

④ 先日の保護者説明会についてだが、学校とも話をした結果、土日を挟むということもあり、内容については保護者には知らせたほうがいいだろうということで、金曜日の夜に案内をさせていただいた。この間わかっていることは限られており、まだ事実が確認できていない部分もあった。ただ学校から何の説明もないということでは、子供たちが月曜日に登校するときに不安に思うのではないかとということで保護者の方に話をさせていただきたく急遽開催した。確かに進行の仕方がまずかったと思っているし、私も途中で発言をさせていただいたが、逆に保護者の方の不安を助長するような形になってしまった。私どもとしては進行等について確認をすべきだったと思っている。その点について誠に申しわけないと思っている。

⑤ マニュアルについては早瀬指導参事から答弁する。

⑥ 私なりの当該中学校のイメージだが、非常に熱心に部活動も含めて活躍を

早瀬指導参事

する生徒が多いという印象を持っている。ただ生徒指導上の課題もあるという認識をしている。そういう面については各学校においてもいじめに限らずさまざまな問題行動のある生徒が多かれ少なかれいるので適切な対応を求めてきたところだが、私どもの指導も表面的ではなかったということについては今回の事件を受けて反省をしなければならない点だと思っている。

③ 事件のあった翌日の3月6日に全校集会を開き、校長先生からの話があり、その後教室に戻り全生徒からアンケート調査をした。その際出席していた生徒全員から回収できた。その日は夜遅くまで全員が残り、それぞれ分担された役割をやっていた。先生方が非協力的という中でこのアンケートが行われたという事実はない。私の目からはそう見えた。

⑤ マニュアルの関係だが、非常にタイミングが悪く残念に思っている。2月25日にこのマニュアルのゲラができ上がり、小中学校から集まっていた生徒指導担当者会議でゲラを配付させていただいた。よく目を通していただき、何かまずいところがあれば指摘いただきたいということでお願いをした。3月2日には教育委員会のホームページにアップしたが、先に新聞記事として掲載されたので結構全道的な反響があり、送ってほしいという依頼がたくさんあったので、ホームページをごらんくださいということで案内をしている。3月9日に市内全教職員に配付した。このマニュアルは500部作成し、現在までに300部ほど配付をしている状況である。

関 藤

① マニュアルについてだが、多分私が埼玉県はいじめ対応ハンドブックというものを教育委員会に持ち込んだのは1年前くらいだったと思う。以前はいじめ問題の後、いろいろと調べてここがよくできていたので参考にしてもらいたいと思い持ち込んだ。1年前か1年半前に他市町村や県ではこういったものがつくられている。今回滝川市の中身を見るとよくできているものだと評価させていただくが、やっとでき上がったとなるとかなり遅い対応だと思う。その辺をどのように感じているのか。

② 私も保護者から聞き取りをした。説明会でも言われていたことだが、保護者の方に協力を求めても、この実態がどういう状況でどういう人間関係でどういうことだったのかがもっと把握できないと何をどう協力していいものかわからないと言っていた。やはりある程度の状況が確認できた段階で次の保護者説明会にはもう少し詳しく、またどういう協力をしてほしいのかということ具体的にしてもらいたい、いかがか。

③ 最終的には現場の問題である。やはりそこで出てくるのは教員の資質の問題である。目配り、気配りが足りなさ過ぎる。先生方が一人一人に目が届かないというのであれば、スクールカウンセラーも学校に配置されている。スクールカウンセラーの役割は何なのか。部屋にいて子供に何か困ったことがあれば相談しに来てくださいという受け身ではだめであり、やはりこちらから積極的にしなければならないと思う。保護者説明会で教頭がチャイム前行動を徹底してやりたいと言っていたが、そのようなことは常識的なことである。生徒の行動や生徒がどういう状況にあるのかを把握するには休み時間や授業が始まる前に積極的に教室に入っていかなければならない。その休み時間こそ子供たちの動きが見えるものである。これは私も子供たちを教えている立場であり、物すごくわかる。教室に生徒がいて、授業が始まるまで黙って事務所にいるということはある得ない。生徒が来たその瞬間からだれか先生がいて、そこから普段

教 育 長

の状況、家での生活の様子、交友関係などが見えてくる。そういう努力を学校の先生方にももっとしていただきたい。その辺の対応はどのようになっているのか伺う。

① 関藤委員から埼玉県の良い対応ハンドブックをいただいた。前回の事件がきっかけということもあり、道教委でも作成をして全道市町村に配付をしている。当面道教委の作成したもので各校対応をしている。ただ滝川市としては事件を受けてきちんとした具体的なものをつくったほうがいいだろうということで作成した。先ほど評価いただきありがたいと思う。これもいろいろな先生方にかかわっていただいて滝川版としてつくらせていただいた。それまでの間何のよりどころもなかったわけではないので、その辺は理解いただきたい。

② 保護者の方の不安を取り除くということが必要だと思っている。意見のあったような形で前後関係や幅、深さといったようなものをきちんと把握をして知らせる必要があると思っている。

③ 最終的に現場の問題だと言われるのは理解できる。空白時間である給食時間、休み時間、授業が終わってから下校するまでの時間をなるべくつくりたくないように改めていきたいと思うし、徹底したいと思う。当該中学校だけの問題ではないと思うので、その点については他校においても指導をしていきたいと思う。

委 員 長
窪 之 内

他に質疑はあるか。

① 報告のあった点に基づき事実確認も含めて質疑させていただく。学校への第一通報はだれから行われたのか。その時刻とその後1時半までの対応はどのようなものだったのか。

② 病状についてだが、回復までにはどのくらいの期間がかかると推定しているのか。

③ 3月5日、14時30分に学校がAから事情聴取を行ったが、その内容、本人の言葉、態度がどうだったのか伺う。

④ 市教委のこれまでの対応というところだが、市教委への最初の報告はだれから何時に行われ、何時に指導参事が中学校に着いたのか。その間どういった打ち合わせを教育委員会として行ったのか伺う。

⑤ 保護者説明会についてだが、参加保護者130名は何世帯か。夫婦で来られた方もいると思う。396世帯のうち何世帯が出席されたのか。

⑥ 3分の1くらいしか参加していないが、参加しなかった保護者への対応はどのように行われたのか。また行われる予定なのか。

⑦ 生徒のシグナルを受けとめられずと書かれてある。関藤委員も言われたが、本当に一度もカウンセラーや担任、養護教諭などだれも何も訴えを聞いていないのか。これから調査をする段階なのか。

⑧ アンケートの調査結果は資料でいただいたが、これを見てもいじめた生徒は複数いると確認できる。保護者説明会では人数について触れていない。このアンケート結果や聞き取り等で確認できているだけで飛びおりを図った生徒との関係でいじめに参加したのは何人いるのか。同学年は何人で上級生は何人なのか。把握している範囲で答弁願う。

⑨ 4の最後に、事実について認めている生徒・保護者もいると書いてあるが、その事実とはどの事実のことなのか。認めた事実内容となぜそうした事実を行ったのかということも聞き取りをしているのであれば伺いたい。

⑩ 質疑応答のQ3 ところでは、春にもいじめのアンケートをしており、陸上記録会で無視されている子供を見たという回答をしたとあるが、それについての答えは事実確認の結果いじめとは判断していないとある。こういった事実確認をしていじめと判断しなかったのか。

⑪ A5で、今回の中心はメールで指図したり脅すなどの周りから見えにくいものだったが、実際に叩いたり言葉でも脅しているとある。こうしたことが行われた時期、回数など把握していれば答弁願う。

⑫ A6については先ほどの質疑と関係してしまうが、人数は断定できないがわかる範囲で答えていただきたい。またここで言われているのは、いじめという行動を行っていた子供たちのことだと思うが、今までも目立っていたとなっている。目立つという意味はどういうことなのか。いろいろな問題行動で目立っていたのか。もしそうであれば、なぜこの子たちに目を向けていなかったのか大きな問題となる。

⑬ Q9に対して部活における取り組みを強化しているが、すべて解決にまで至っていないということである。どのような取り組みをして、どうして解決に至っていないのか。これは全く総務文教常任委員会には報告されていない。この点についても事実関係を伺う。

⑭ 全体としてだが、学校現場で情報の共有化をしていないことを認めている。江部乙小学校の大きな教訓は、教師集団の情報の共有化だったのではないか。それを学校集団、教師集団の全体のものとして取り組んでいくというのが、教訓だったはずである。いったいそれを教育委員会はどう受けとめ、学校へどう指示をし、学校を運営している学校長はそのことをどう受けとめているのか。共有化されていないというのはいったいどういうことなのか。情報の共有化は全学校でやっていることだと思った。今こういう情報の共有化は江部乙小学校でしかやられていないのか。

⑮ 総務文教常任委員会で市内全校の視察を行ったときに、極端に学校の清掃状態が悪かったのは当該中学校だった。そこからはそうなる何か根源的なものがあるという不安を抱いた。教育委員会も一緒に視察をしたので、そういう状況についてその後の懇談会でも話をさせていただいた。そこは学校が荒れている、教師集団としてまとめ切れないなどという何かがあったと思う。学校全体が醸し出すそういう特徴に対して教育委員会はその後どういった指導を行っていたのか伺う。

水林室長

①④ 3月5日、8時40分にこの事件について当該中学校の校長から教育長へ電話で連絡があった。8時45分に滝川警察署から私に電話があり、9時10分に滝川警察署へ行き概要を確認した。その後10時10分に教育委員会の職員を招集し、11時に指導参事と私で学校へ出向いたが、ちょうど校長が教育委員会へ向かったということで入れ違いになり、私どもも教育委員会に戻りそこで話をした。空知教育局へは11時ころに電話で報告をしている。早瀬指導参事は翌6日金曜日、9時半から学校へ出向きそこでこれらの処理に当たった。事件当日8時25分に滝川警察署から学校へ連絡があり、教頭が内容を受け、生徒が砂川市立病院へ搬送されたということを確認している。

② 生徒の病状については当初左足骨折ということで連絡があったが、右足首粉碎骨折ということで変更となった。そのとき聞いた情報では、当日夕方から手術をして、中にボルトで3カ所とめたという情報もある。手術後1カ月ほど

状況を見て、もし状況が思うようでなければ再手術もあり得るということだった。また本格的なりハビリについても1カ月後からの開始になるだろうということだった。

③ 3月5日のAに対する事情聴取の内容ということだが、アンケートの内容に記載されているような行為を自分が行ったと認めている。保護者もそのことについてはその生徒と一緒に話を聞いて納得され、謝りたいという意向を持っている。

⑤ 保護者説明会へ参加されたのは何世帯かということについては、夫婦で来ていた方もおり、延べで数えているため把握できていない。そのようなこともあり、あえて参加率が何%ということも記載しなかった。

⑦ 生徒のシグナルを受けとめられなかったことについては、私どもでも改めて事実確認をしたいと思っている。

⑧ アンケート結果の内容からは3名と理解をしている。同学年もいるし上級生もいる。

⑨ 3名ともアンケート結果にあるような行為を行ったことを認めている。

⑩ 春のアンケートの経過については、学校に確認したいと思う。後ほど報告をさせていただきたい。

⑪ メールが中心ということについては、こちらも現在聞き取りの内容、アンケートの中身から時系列に整理をしているところである。最終的にその中身を本人と確認をさせていただき、いつごろからどの程度なのかという頻度や背景、また中学校ではいろいろなグループがあるのでその動きがどういったものだったのかなどを含めて確認作業をしたいと思う。

⑫ 目立ったという意味については、問題行動があった子供たちということであり、委員が言われるようになぜそのことに目を向けていなかったのか、仮に飛びおりた生徒に気づかないにしても加害側をケアしていれば防げたことだと思っている。この部分についても検証したいと思う。原因を探らなければ対策もとれないと思っているので、きちんと行っていきたいと思っている。

⑬ 当該中学校の伝統として全部活なのか一部なのかはわからないが、ジャージのチャックを上まで上げるというようなことがある。そういう噂が流れていたことに対して、子供が小学校のときに不安に思っていたというものである。この詳細についても学校でどのような対応をしていたのかについて後ほど報告をしたいと思う。

⑭ 情報の共有化をしていないという点については、委員の言われるとおりだと思う。事件直後、必ず一人で抱え込まないで複数で情報共有をして、そういう指導の記録に努めること等を学校体制として行うようにと指導してきた。今回教員の中でもそういう連携がとれていないという反省もあった。ここだけの問題ではないと思っており、改めて全学校において確認する必要があると思っている。

⑮ 総務文教常任委員会が視察をしたときの清掃に関しては、私どもも気づいている。廊下の隅に綿ぼりが多かったり、別の機会に私が行ったときには昼休みの音楽が少し大きくかかっていたりと感じることもあった。先般保護者説明会に行ったときには教諭も清掃当番等を決めてきちんと確認をするということも行われていたので、清掃については改善がされてきていると思う。いずれにしてもこういう事件が起きてしまったことは私どもの指導が足りなかったと

窪之内

率直におわびをしたいと思う。

① 事実確認をしてからということもあると思うが、現段階でいじめが原因であったかどうかは別としてその子に対するいじめがあったことは確認できる。アンケート結果の中でA、B、C、Dと出ているが、ここで言われているAというのは飛びおりた当事者であり、いじめた側がB、C、Dと確認できる。全校生徒から出てきたアンケートの結果が3人に集中しているのが物すごく異常だと思う。こんなにはっきりと3人を特定できる内容が出てきている。教師集団は気づかなかったのではなく、見なかった、見ようとしなかったとしか考えられない。本当にあの事件は二度と起きてほしくない。一体一人一人の教師はどう受けとめていたのか。情けない気持ちである。

② アンケートの趣旨は飛びおりた子をターゲットとしたものだが、そのほかのいじめの事実を今後どのように把握しようとしているのか。75名が何らかの記入をしたということはかなりの数であり、ほとんど知っていたということである。その辺の実態調査を行っていただきたいが、それをどのようにしようとしているのか伺う。

③ Bからだけ事情聴取をしたわけではなく、CとDも保護者を含めて話をし、確認をしていると理解してよいか。謝罪の意を示しているということだが、飛びおりた生徒の親はそれを受けようとしているのか。その辺の状況について伺う。

④ 気になるのは教師集団が非協力的だということである。そう言われるような何らかの事例があったからそういう話が出てきたと思う。教育委員会としてそう受けとめられるようなことがあるのか。思い当たることがあれば報告願いたい。

教育長

① 教師が見なかった、見ようとしなかった、江部乙の事件をどう受けとめていたのかという点については、委員と同じように私も事件直後から担当していた身としては非常に情けない思いもあるし、怒りに近い感情もある。やはりそこは組織体制、指導体制の問題なのか。管理運営に当たるものの役割を本当に果たしていたのかどうか。教師の中できちんとそのようなことが伝わっていたのか。先ほども申し上げたが、この辺をきちんとやらせていただきたいという決意は持っている。

② この件の実態調査については、学校で聞き取った内容などを時系列に整理をしている。いつごろからどのようなきっかけで何が始まったのかを把握したい。メール等のやりとりがあった部分もあり、なかなかわかりづらい部分もあるが、当該生徒に確認もしながら進めたいと思う。いずれにしても保護者の同意が必要であり、事件の直後ということもあるので、本人や保護者の意向を酌みながら慎重に進めたいと思う。また保護者との信頼関係を失わないようにこの先進めていきたいと思う。その中で確認等できた部分について適宜報告をしていきたい。

③ B、C、Dが謝罪の意をあらわしたいということについては保護者にも話をしているが、まだその時期ではないと思っている。

④ 先ほど関藤委員からも言われたが、非協力的ということについては私どもとして確認はできていない。もし何か具体的なことを聞いたりしているのであれば、後でも構わないので教えていただき、調べたいと思う。

窪之内

① 先ほど質疑した部分において時系列的に答弁いただいたが、資料にして次

回委員会までにまとめていただきたい。

② 今までの陸上記録会のことやB、C、Dの問題行動がどういうもので、どういう指導をしてきたのか。また保護者とどのような連携をとってきたのか。今の段階でわかるのであれば報告願いたい。きょうわからないということであれば、そういうことをすべて次回の委員会で示してほしい。

教 育 長

① 現在考えているのは、前回の自殺事件のときに出させていただいた報告書のような形で学校にまとめていただいている。それぞれの指導記録も含めて整理をしていただいている最中である。イメージとしてはあのようなもので報告したいと思っている。

水林室長

② 整理してから報告する。

委 員 長

他に質疑はあるか。

大 谷

① 中学1年生男子だが、中学校に行ってからそういういじめにあっていたのか。どの時点で発生したのか。

② 2年生も3年生もそういう状況を知っているということはかなりの子供が見ている中でいじめが起きている。考えられない。こういうことにあっているということを知らせる人がだれもいなかったのか。見た者が担任や相談員などいろいろな人に言うこともできたと思う。江部乙の事件を教訓とした日常の心の教育がされていないと思う。私もすごく責任を感じることであり、教職員の非協力的という部分についてはすごく重く感じている。教職員は日常多忙だが、そういうことに蓋をして非協力的ということは考えられないが、どうなのか。

③ 生徒数444名中75名が記入をしているということだが、以前のアンケートのときには特に全員が書かなくてもいいとか、出すように言うと出してもよくならないというところがあった。今回も実際に大きな問題になりながらそのくらの生徒しか書かないというのはおかしいと思う。下のまとめのところに他50件とあるが、大体同じ内容のためにここに記載されていないと受けとめてよいのか。

④ A6で目立っていた生徒はどのように目立っていてどのような指導をしていたのか。

委 員 長

質疑を整理させていただく。まず小学校時代も含めていつからいじめがあったのかということ。2番目の教職員が非協力的であるという部分。これについてはここでは答弁できない。3番目は75名の記入と50件についての状況。最後の目立っていたという点については窪之内委員が質疑したので、1番目と3番目の質疑に対し答弁願う。

教 育 長

① 今のところ私どもで押さえているのは中学校に入ってから人間関係だと認識をしている。

③ アンケート結果についてだが、当該生徒にかかる分について見たり聞いたことがある人が75名ということで記入があった。当時生徒数が何人だったかということについては後ほど細かい数字を出したいと思う。ただ配付した分についてはすべて回収している。その他の50件については大体同様の意見だった。一般的にはこのような自由記載欄には余り記載がないものだが、今回は事件の直後ということもあり、非常に多くの記載があった。

委 員 長

他に質疑はあるか。

井 上

非常に残念なことである。これだけ集中攻撃にあっており、この子供が非常にかわいそうである。学校崩壊、学級崩壊などと言われているが、このアンケー

トの結果を見れば惨たんたるものである。この子の飛びおりの自殺行為はそこまで追い詰められたということである。私はその前に親が学校に相談していると思う。そういうことは実際になかったのか。この学校をみんなで守ろうという気概が見えず、先生方も個人主義になってしまっている。学校と親との関係について伺う。

水林室長
井 上

残念ながら保護者からの相談はなかった。

これだけの生徒がアンケートに答えており、うそを言っていないと思う。これだけいじめられている状態なのにわからないということはない。先生方や学校管理者のほうへ報告はなかったのか。

委 員 長
井 上
委員 長
井 上

先ほどそういうことはなかったと説明されている。

校長や教頭に一度も報告がなかったのか。

ないということである。

もう一度答弁してほしい。

早瀬指導参事

アンケートの数字だが、質問1と質問2に答えている生徒が75名である。質問3の全校集会で話を聞いて、考えたことはどんなことかということに対して、裏面にあるように1年生ではここに書かれているほかに101件、2年生ではこのほかに136件、3年生ではこのほかに50件の記述があった。大部分の生徒は何らかの記述をしているということである。本件については質問1が88件、質問2が7件という回答である。先生方がこの件について見たり聞いたりしていたかということに関してだが、この生徒たちは昨年は非常に仲良く遊んでいる間柄だった。子供たちのアンケートの中から、それが冬休みを過ぎるころから関係がおかしくなってきた、ここ一、二週間の間に急激に相手を従わせたり、暴力的なことが行われるようになったということである。まだ確認はできていないので、断定はできないが、そのようなことがわかってきている。先生方にもその状況について聞いたが、本当に気がついていなかったということだった。今思えばそうかもしれないということも含めて、先生方同士横のつながりをしっかり持って、そういう議論をしっかりやってほしいと言っている。それができないと今後の方策というものも生まれてこないと話をさせていただいた。先ほどの窪之内委員の不参加の保護者への対応についての質疑だが、この件についてのみの内容で学校だよりが発行されている。その中で、報道関係の方や議会に提出しているような内容に沿って、保護者説明会の内容を記載した学校だよりが本日発行されている。

委 員 長
大 谷

他に質疑はあるか。

ただいまの早瀬指導参事の話の確認だが、今回の冬休みということか。アンケート回答の中には、昨年の夏・冬ということで書かれているが、今の冬のことか。

早瀬指導参事

時系列が整理できていればいいのだが、何度も仲のよい時期があったり、いさかいがあったりと繰り返しているようであり、ずっと仲がよいというわけでもなさそうである。しかも周りの子供たちからは仲のよいけんかに見えたり、一般的に言われるようないじめがいじめでないように見えていたということもあるようである。

委 員 長

時系列的な事実確認はまだできない。窪之内委員の質疑の中で資料にまとめるということになっているので、そこに関しての質疑はやめていただきたい。

委 員 長

他に質疑はあるか。

副委員長	いじめをしていた、いじめられていた子供たちの担任が本当に気づいていなかったというのが疑問である。飛びおりた生徒が1カ月か2カ月すると学校に復帰することになると思う。確かに原因究明も大事だが、それを受けて防止や対策も大事である。ただ最も大事なはその生徒が戻って来れる環境にしなければならないと思う。それをどのように考えているのか伺う。
高橋部長	担任は毎日病院に行ったり、父親に会って病状をうかがっていると聞いている。保護者のほうから本人がまだ落ちついていないということもあり遠慮願いたいということで子供とは直接会っていない状況である。病状の関係だが、1カ月くらいでリハビリができるような状況だと聞いている。全治何カ月かということについては私どものほうで情報は持っていない。学校に戻るためという点がまさに最も大事な部分だと思っている。学校も校長を初めそういう体制について進めていかなければならないと思っており、また最優先にしていかなければならないと思っている。
委員長 関 藤	他に質疑はあるか。 ① 回目の保護者説明会のときに主たる加害者と言われている生徒の担任から説明をしていただけるのか。 ② 学校の先生方が非協力的だということだが、きのうPTA会長が今どういう状況になっているかということで学校訪問をしている。学校は学校として実態調査やその他事情聴取などを先生方にもしていると思うが、教頭がなかなか先生方に協力してもらえないところもあるとPTA会長に述べていたということだったのでそのことをここで言わせていただいた。
委員長	中学校とPTAとの関係の質疑なのでこの場で確認すべきものではないととらえさせていただく。他に質疑はあるか。
窪 之 内	このアンケート結果からもわかるように全校生徒にこのA、B、C、Dの名前が知れ渡っていると思われる。特定の名前を出してアンケートをしなければ質問1は成り立たないと思う。その辺の指導みたいなことはされたのか。
水林室長	アンケートの前段で1年男子生徒がいじめられているところを見たり、聞いたことがあれば教えてくださいという質問を求めた。
窪 之 内	私は現実的なことを言っている。現実には学級などもわかるわけだからそのわかっている、そのように広がっているということを認識した上で何か指導を行ってはいないのかということ聞いた。
早瀬指導参事	前段に全校集会で校長からこの事態の状況が述べられ、生徒は大体理解をしているという中で、その後の教室でのアンケート調査である。このアンケート調査書の文面ではこのようになっているが、集会時に初めて知ったという生徒もいたようである。
委員長	委員全員が質疑を行った。今後状況によるが、近々委員会を開催することになると思う。先ほど窪之内委員から時系列の資料を示してほしいという話があったが、何かそのような要望があれば伺う。私からはアンケート結果の質問2について若干の分析結果が出ているが、このことは大変重要だと思うのでもう少し分析したものをぜひ次回委員会までに示していただきたいと思う。 ほかに何か要望はあるか。(なし)
	基本的に今質疑があったようなことを参考にして調査を進めていただくことになると思う。
清水委員外議員	委員外議員の発言を認めてほしい。

- 委員長 冒頭でも委員外議員の発言について遠慮いただきたい旨を申し上げている。発言が絶対だめだと申し上げているわけではない。ただこのような流れを確認した上でこの場に臨んだということだけは理解していただいていると思う。それでもということであれば受けたいと思う。委員外議員の質疑について確認するため休憩する。
- 休 憩 17:57
再 開 18:00
- 委員長 再開する。では委員外議員からの質疑を受ける。
- 清水委員外議員 ① どれほどこの中学校が異常な状態になっているのかということ把握しないと連鎖する可能性があると思う。聞くところによるとB、C、DはAだけでなくかなりの相手をいじめているそうである。教育委員会、学校としていじめの実態を数字等でどのように把握されているのか。また不登校の子供や不登校にならないが親に送ってもらっているというような実態を数字で伺いたい。
- ② 幸いにも命が助かったという中で、本来であれば言えないが、言わなければならないと考え教育長に伺いたい。いじめの中でも単なる暴行ではなく、傷害事件になる寸前で和解をしたという問題が昨年あったと思う。2年生である。もう1点も昨年と聞いているが、自傷行為があった。これも幸い表に出なかった。大きく2点の話を聞いている。こういったことについて把握をしているのか。
- 委員長 現在どうしても聞く必要があるということだけ質疑を受ける。
- 清水委員外議員 連鎖を防ぐということで聞いている。
- 委員長 また近々委員会が開催されると思うので、それまでにまとめていただきたいことについて申し上げるのは構わない。その辺は十分自分で判断いただきたい。
- 清水委員外議員 ③ 初動調査が実に大事だと思う。その際に学校と教育委員会の調査では私は弱いと思う。予算をつけてでも専門家を入れて初動調査を行ったほうがいい。このアンケートというものは中学生なのでなかなか書けないと思う。一方保護者には物すごく情報が回っている。保護者に対するアンケートまで含めて今の学校で子供たちが置かれている実態をきちんとつかみ、必ず連鎖を起こさせないようにしなければならない。このBという生徒は何食わぬ顔で学校に来て、別の子をまだいじめていると言う親もいる。そういうことも踏まえて伺う。
- 水林室長 ① いじめについては1月末現在で小学校が9件、中学校が6件、合計15件と報告を受けている。このうち当該校については3件である。最初、1月末と言ったが訂正する。
- 委員長 先ほど私からも同義の質疑をしているので、きちんと整理してから示してほしい。
- 水林室長 ① 不登校についてだが、当該校では2月末現在で12名である。
- 委員長 2番目の質疑については把握していないということであればそのように答弁願う。ただこの質疑は緊急を要する質疑であるとは思わない。
- 清水委員外議員 傷害と自傷行為の確認をしたい。
- 委員長 では確認をして次回委員会に報告するという事でよいのか。(よし)
みずから整理して質疑願いたい。では3番目の初動調査について答弁願う。
- 教育長 ③ 被害にあった生徒から話を聞くことができる状況にある。道教委にも逐次連絡をとり、その指導を受けながらやっているのので現在のところ特にそのような初動調査については考えていない。アンケートについてだが、子供ではなか

なか書けないということもあると思う。さまざまな形でやろうと思っているし、学校でも教育相談ということで取り組みをしていきたいと思う。保護者アンケートをとるかどうかは改めて学校とも相談をしたいと思う。

委員 長 他に質疑はあるか。

荒木委員外議員 いろいろと調査中だと思うので、事実だけ伺いたい。私が聞いたことなのでその事実関係は申し上げられないが、教育委員会と学校だけで対応できる問題ではないといううわさがある。警察の捜査対象となっているのかどうかだけ伺う。

水林室長 私どもの情報では、警察のほうで生徒本人の病状を見て聴取すると聞いている。本人と警察との事情聴取の中でどうするのが決定されると思う。

委員 長 他に質疑はあるか。

渡辺委員外議員 明日女子児童のいじめによる自殺事件における訴訟問題などについて質問するが、どこまで触れていいのだろうか。改めてこのことについて聞くわけではないが、昨日総務文教常任委員会で報告があったがということで発言ができるものか。そのくらいの発言も全くできないのか。

委員 長 できない。

山口委員外議員 ① 担任が毎日病院に行っているが、会えないとのことだった。担任に会えないのではなくて、会いたくないという可能性もあると思う。教育委員会は病院に行ったのか。

教育 長 ② 先生方がそういういじめを見つけられなかったことに対してこれから調査が進んでいくと思うが、懲罰みたいなものがあるのか。いじめた側の子供たちをどこかへ転校させるということもあり得るのか。

山口委員外議員 ① 会えないのか会いたくないのかについては、直接保護者の方からも聞いてはいない。ただ本人の状態を見ながら少しずつ友人などから会わせる考えでいると聞いている。担任が会うのを拒否されているわけではないと認識をしている。私も土曜日に見舞いを含めて伺おうと思ったが、まだその時期ではないということだった。保護者の方が了解いただけるのであれば、改めて見舞いに行きたいということで申し入れをさせていただいている。

委員 長 ② 懲罰についてだが、場合によってはないわけではないと思う。程度の問題だと思う。私のほうは事故として道教委に報告するが、道教委がそれが懲罰に値するか否かを判断すると思う。加害者生徒について今後どういう対応が必要になっていくのか、また一定のケアも必要であり、今後新しい価値観を持って人生を歩めるようになる教育をどのように行っていくかということも当然必要になると思う。懲罰ということだけではなく、さまざまな教育的観点から子供たちの対応についても決めていかなければならないと思っている。

山口委員外議員 いじめた側の子供たちについてだが、過去にもそういうことがあったのか。例えばほかの学校でそういう経過があったかどうかというようなことは調べたのか。

委員 長 その件については時系列とともに出していただくということでよいか。(よし)

委員 長 他に質疑はあるか。(なし)

委員 長 (1)について報告済みとする。

委員 長 **2 その他について**

委員 長 何かあるか。(なし)

委員 長 **3 次回委員会の日程について**

委員 長 次回委員会については調査の進行内容等に応じて正副委員長に一任願いたい。

その際にこうした委員会が先になるかどうかはわからないが、学校視察ということで学校へ直接調査に行きたいと思っている。議会明けになると思うが、なるべく早い機会に行きたいと思う。その辺について何か意見があれば伺いたい。

(なし) ではその日程についても正副委員長に一任願う。今後も間断なく進めていきたいと思うので協力願う。

以上で第20回総務文教常任委員会を閉会する。

閉 会 18:16